

日本共産党 3月蕨市議会報告

市長提出議案は全会一致可決

3月定例市議会は2013年度予算など市長提出議案すべてを全会一致で可決、陳情は不採択(記事下段)で、3月25日に閉会しました。2面・

学校体育館に続いて、公共施設の耐震化を推進

蕨市は頼高市長になってから学校施設の耐震化工事が進み、13年度で完了します。続いて、保育園と公民館の耐震化を進めます。各施設の耐震調査・設計・工事の予定及び学校体育館の大規模改修は、2・3面に掲載しました。



錦町1丁目に開設した保育園「アートチャイルドケア蕨」前で、左から鈴木、志村、山脇、梶原各議員(4月5日)

新特養ホームの建設に向けて動き出す

国が特別養護老人ホーム建設の補助金を削減したために、全国的に特養ホームの待機者が増えて問題になっています。蕨市では土地所有者者に補助金を出し、新特養ホーム建設に向けて動き出しました。開設は15年4月の予定です。

認可保育園が4月に開設

国が保育園建設への補助金を削減したために、全国的に待機児童が増えています。蕨市では、民間の協力で認可保育園が増設され、13年4月に定員105名の民間認可保育園「アートチャイルドケア蕨」が開設しました。

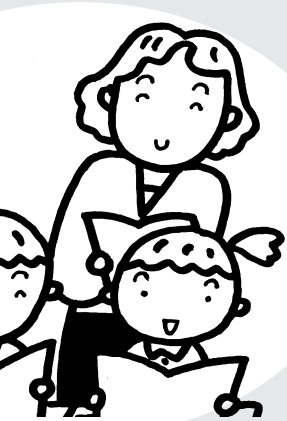
中央第一地区の新しいまちづくり

昨年12月、見通しの立った中央第一地区区画整理事業の中止と新たな「中央第一まちづくりプラン」を正式に決定。修復型まちづくりで、建築制限解除で建替え促進、災害に強いまちづくり、魅力ある商業空間創出をめざします。

年金切り下げ中止を求める陳情が、新生会・公明・民主の反対で不採択

市民から提出された「年金2・5%の削減中止を政府に求める陳情」について、日本共産党は、「年金を3年間で2・5%切り下げ、それ以降もマクロ経済スライドで年金を下げ続けることは生存権をおびやかすので、削減は中止すべき」と討論して賛成しましたが、新生会・公明党・民主党が反対して不採択になりました。

でたくさんの市民要望が実現



◆35人程度学級を継続

昨年度に続いて小学校の全学年で、市独自に35人程度学級を実施。

◆学校図書館に司書を配置

各中学校区ごとに司書を配置し、担当する小中学校を巡回します。

◆小学校で土曜塾を開始

小学校3～6年生を対象に隔週土曜日の午前9時半～11時半開設。13年度は東小・西小・南小で実施し、順次全小学校に広がります。

◆地域活動支援センターへの補助を増額

精神障がい者の居場所と相談活動で重要な役割を担っている「糸ぐるま」に補助金を増額。

◆保育園の耐震化を実施

- ◎みどり、さつき両保育園の耐震補強工事を実施。
- ◎さくら保育園の耐震設計（14年度に耐震補強工事を予定）。

◆公民館の耐震化を推進

東・西・南各公民館の耐震診断を実施。他館も順次計画的に推進。



耐震補強工事が行われる中央東小体育館

◆学校体育館の耐震化と改修、及び各施設の改修を実施

- ◎北小、中央小、中央東小、一中、東中の体育館の耐震補強工事と大規模改修（12年度補正予算）。
- ◎二中体育館の床改修と非構造部材の耐震設計。
- ◎南小学校校庭改修。
- ◎東中のプール改修。
- ◎各小学校のトイレ改修。

◆自主防災組織のリーダー養成講座を実施

各町会の自主防災組織から概ね3名を対象に災害図上訓練や避難所運営訓練を実施します。

◆防災行政無線の難聴地域調査を実施

市内38か所の防災無線のスピーカーの方向修正や増設等を検討。

◆老朽空き家対策はじまる

「老朽空き家等の安全管理に関する条例」に基づく老朽空き家解体のための費用等を予算化。



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明

4月の市民相談

24日(水)午後1時～3時

5月の市民相談

8日(水)・22日(水)午後1時～3時

場所はいずれも
市役所4階

日本共産党議員控室

☎ 432 - 3590

2013年度予算と12年度補正



◆子宮頸がん・ヒパ・小児月経不調
球園各ワクチンを全額公費負担に
今年度から自己負担をなくし、
すべて無料にしました。

◆国保税を値上げしない
頼高市長になってからは、国保
税の税率引き上げを行っていませ
ん。13年度も値上げをしません。

◆空き店舗有効活用事業を継続

◆リフォーム助成を継続

市内業者による個人住宅の改修
に工事費の5%を補助（上限10万
円）する制度を継続。

◆市の融資制度への補助を継続

◆太陽光発電等への補助を継続

太陽光発電システムに10万円、
太陽熱利用システムに5万円、ガ
スエンジン給湯器に5万円、家庭
用燃料電池に5万円を補助。

◆防犯灯100基設置

新設57基、取替43基の計100
基をLED電球で設置。

◆防犯活動を行う団体に防犯用品
購入費補助

自主的に防犯活動を行う団体が

防犯用品等を購入する際に補助金
5万円を支給（14年度までに1回
限り）。

◆協働事業提案制度を実施

12月議会で可決した「みんなで
創るわらび推進条例」に基づき、
市民が提案した協働事業を審査し
事業化します。

◆鉛製給水管交換への補助

個人敷地内の鉛製給水管の交換
を促進するため、費用の半額（上
限2万5千円）を補助。

◆市役所通りの拡幅

県の事業ですが、市も財政負担
しています。13年度中に開通する
見通しです。

◆錦町区画整理事業の推進

一般会計からの繰入金を増やし、



新設舗装する錦町松原線

12年度補正予算と13年度予算を合
わせて、40棟の家屋移転と錦町松
原線の新設舗装等を実施。

◆土地開発公社の健全化と借金削
減を推進

蔵市土地開発公社が借金で土地
を購入したまま所有している土地
を、12年度補正と13年度予算で合
計約5億5百万円買い戻します。

悩み・困りごとは日本共産党にご相談ください

事務所 ☎ 443 - 8332 FAX 444 - 6531

3月市議会 志村しげる議員の一般質問



【志村しげるのプロフィール】

- 1950年（昭和25年）4月、蕨市で生まれる
- 現在＝市議9期、日本共産党蕨市議団団長、環境福祉経済常任委員長、議会運営委員
- 錦町4-8-5 電話441-0265
FAX441-0269

生活相談はいつでもどうぞ

◆障がい者用グループホームと短期入所事業について

【志村】市有地を貸して、知的障がい者用グループホーム6室以上とショートステイ2室を設置する計画だが、ショートステイはどの程度利用され、事業が成り立つためにはどのくらいの利用が必要と考えるか。

【部長】ほぼ空きがない程度の利用があると考えている。グループホームとショートステイを合わせた全体では事業が成り立つと考えている。

【志村】私が調査した6事業所の中には、ショートステイの利用が少なくて運営が厳しいという事業所もあった。そのような場合、状況によって市の支援を検討する用意があるか。

【部長】現在は運営への支援は考えていないが、事業者からのヒヤリング等の中で検討することもあり得る。

【志村】社会福祉協議会に委託している夜間保護事業は継続するのか。

【部長】すぐに廃止することは考えていない。

◆リサイクルの促進とごみの減量化について

【志村】平成25～39年度のごみ処理基本計画で、平成39年度の1人1日当たりのごみ排出量が25年度に比べて戸田市は111g減るのに蕨市は16gしか減らないのはなぜか。

【部長】戸田市の担当の話では、事業者のごみの減量が見られるということ、これが蕨市より減量になる

理由である。これは蕨戸田衛生センターによる推計であり、あくまで予想値であって目標値ではない。

【志村】私は12月定例市議会で、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類もリサイクルすべきだと提案し、部長は検討すると答えたが、どのような検討がされているか。

【部長】本年2月25日から、容器包装以外の「硬質プラスチック」のリサイクルを試験的に開始している。

◆新環境基本計画について

【志村】当局は、私も委員である環境審議会に環境基本計画素案を諮問し、2回目の審議会で答申を求めたが、答申を急がせるべきではない。

【部長】そのことについてはお詫びを申し上げたい。次の計画を作るときは、もっと時間をとりたい。

【志村】ごみ処理基本計画には目標が書かれていないので、環境基本計画にはできるだけ数値目標を書いたほうが良いと思うがどうか。

【部長】審議会終了後担当と話をしたが、数値目標を持った方が分かり易いんじゃないかとの話になった。

【志村】私の発言が生かされていることが分かって良かった。事業所がごみの分別をやり易くするため、資源物の回収方法を、名古屋市などを参考にして研究するよう要望する。

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

- 南町2丁目に整備される特別養護老人ホームについて
- 保育行政について
- 家賃転倒防止金員を要援護者世帯に設置を。中学生地域防災支援事業
- 幼児プランコやプランコ下マットの増設、水路の清掃時期の改善を



鈴木さとし議員

- 「いじめ・体罰」のない教育環境
- 定員を大きく超えた留守家庭児童指導室の改善を
- コミュニティバスについて、ルートの見直し、公民館での高齢者無料バス発行、停留所へのイース設置を求める。



かじわら秀明議員

- 生活保護基準引き下げは、受給者だけでなく低所得者全体の収入を下げるもので断固反対
- 生活習慣病対策と保健指導の改善を求める
- 大雪対策。時速30km規制
- 情報システムリニューアル



生活習慣病を防ぐ保健指導の推進を

【梶原】5年が経過した特定健康診査の実施状況はどうか。

【部長】健診受診率は38%、保健指導実施率は5%。メタボ症候群の該当者と予備群は1372人(28・7%)。保健指導の対象外となる服薬中の人は、高血圧症1545人、脂質異常症912人、糖尿病291人。毎年実施する健康まつりは、生活習慣病の予防と健康への啓発の機会となっている。

【梶原】保健指導の実施率が低いことが課題だ。改善のため、電話での催促や、健診結果通知から指導までの期間を短くすることを提案する。

【梶原】保健指導の実施率が低いことが課題だ。改善のため、電話での催促や、健診結果通知から指導までの期間を短くすることを提案する。

生活保護基準の引き下げに反対する

【梶原】所得最下層10%と比較して

保護基準が高いからと、基準を引き下げたら、低所得者の収入引き下げ競争になる。最低賃金や、課税最低基準、保育料、介護保険料なども連動して悪くなる。

【部長】現時点では具体的内容が不明で、今後の国の動向を注視する。

【梶原】生活保護基準が下がった場合、他制度への影響は最小限になるように検討してもらいたい。

1月14日大雪への対応

【梶原】被害状況はどうか。

【部長】車の衝突事故1件、自転車転倒1件、歩行者転倒6件で、救急搬送は9人。川口市では43人、戸田市では3人の人的被害があった。

【梶原】わらび神社沿いの歩道には



○1962年墨田区生まれ。東京農工大学卒。沖電気などで働く。
○市議3期。蕨市長期計画審議会委員。蕨市国民健康保険運営協議会委員。中小企業診断士。
○北町1-21-19。Tel・Fax：447-1928
ホームページ jcp-warabi.jp
メール kajiwara@jcp-warabi.jp
ツイッター、フェイスブックで発信中。
@KajiwaraHideaki

行政相談・法律相談はいつでもどうぞ

1週間以上雪が残り歩行しづらい状況だった。

【部長】除雪は必要なので、今後、県とも話し合いながら取り組みたい。

他に、庁内情報システムのリニューアルと、自動車の時速30km規制について質問。

塚越公園に鉄棒と停留所ベンチが設置されました



北町調整池とわらび公園の工事が最終段階へ

水害対策工事が今年度で完了し、来年3月に調整池が稼動。同時に公園と防災無縁が再生します。



最終工事準備中のわらび公園

『わらびの未来』市民ワークショップ

2月24日に『わらびの未来』を考える市民ワークショップ発表会があり、梶原市議が傍聴しました。頼高英雄市長に提言が渡され、蕨市の長期計画に生かされます。

日本共産党市議団の一般質問項目

志村しげる議員

- 障がい者用グループホーム整備事業と短期入所事業について
- リサイクルの促進とごみの減量化について
- 新蕨市環境基本計画について



やまわき紀子議員

- 南町2丁目に整備される特別養護老人ホームについて
- 保育行政について
- 家具転倒防止金具を要援護者世帯に設置を。中学生地域防災支援事業
- 幼児プランコやプランコ下マットの増設、水路の清掃時期の改善を



鈴木さとし議員

- 「いじめ」体罰のない教育環境
- 定員を大きく超えた留守家庭児童指導室の改善を
- コミュニティバスについて、ルートの見直し、公民館での高齢者無料バス発行、停留所へのイス設置を求める。



3月市議会 鈴木さとし議員の一般質問



【鈴木さとしのプロフィール】

- 1965年生まれ（47歳）
- 市議3期 党市議団幹事長 総務常任委員会委員
- 家族は 妻、子（14歳、12歳、8歳）
- 中央5-9-7 電話 444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1丁目1～15、23～35、3・4・5丁目

Twitterは@suzuki719
Facebookもやっています

生活相談などお気軽に

「いじめ」「体罰」のない教育環境をめざして

鈴木 「いじめ」「体罰」のない教育環境への取り組みはどうか。

教育長 「いじめ」は決して許されるものではなく、最も重要な課題。実態把握・早期対応・早期解消・被害者の立場に立った指導・見届け等を行うよう継続的に指導してきた。

「体罰」も許されるものでなく、再点検、全中学校への部活動訪問の実施等、実態把握と指導の徹底に努めている。なお、今年度2学期末時点での「いじめ」認知件数は小中学校各6件で全て解消している。認知件数の増加は、教職員の意識向上がはかられているため（把握が進んだもの）と認識している。

鈴木 「蕨市いじめのない明るい学校づくり宣言」制定の経緯はどうか。また、各学校での児童生徒を中心にした取り組み状況はどうか。

教育長 児童生徒たち自身がいじめの根絶をめざす健全な心身の育成を図ることが大切と認識。一中「いじめ追放決議」など児童生徒の主体的な取り組みを全市に広げようと、校長会等で紹介した。各校発表の機会を設けるとともに、子どもたちの宣言ができればと考え、制定に至った。

鈴木 「いじめ」問題の国民的な議論が必要だが、道徳の教科化等、国の統制を強化する動きを懸念している。一方、蕨市の子どもの自主性や現場の努力に依拠し進める方向性は重要な

であり、一層の努力をお願いする。

定員をこえた留守家庭児童指導室の改善を

健康福祉部長 中央地区の施設面での対応は行っていないが、入室希望者の増加は続くと見込まれ、学校敷地内への設置に限らず定員拡大の方策を検討したい。

コミュニティバスに関わる市民要望

鈴木 ルート変更の検討、停留所へのイス設置の推進、高齢者無料パスの公民館での発効を求める。（課題が多く難しい」という答弁に対し）無料パスは運用の検討で解決可能であり、一層の検討を求める。

大規模災害に備える

今年度始まる自主防災リーダー養成講座では、私が9月議会の一般質問で実施を求めた図上訓練が取り入れられる他、避難所運営訓練等も行われます。

様々な災害が同時に多発する大規模災害時には様々な場面で地域の力が不可欠。災害弱者対策も含め、一層の充実が必要で

す。ぜひ、ご意見・ご要望などお寄せ下さい。

日本共産党市議団の一般質問項目

志村しげる議員

- 障がい者用グループホーム整備事業と短期入所事業について
- リサイクルの促進とごみの減量化について
- 新蕨市環境基本計画について



やまわき紀子議員

- 南町2丁目を整備される特別養護老人ホームについて
- 保育行政について
- 家具転倒防止金具を要援護者世帯に設置を。中学生地域防災支援事業
- 幼児プランコやプランコ下マットの増設、水路の清掃時期の改善を



かしわら秀明議員

- 生活保護基準引き下げは、受給者だけでなく低所得者全体の収入を下げるもので断固反対
- 生活習慣病対策と保健指導の改善を求める
- 大雪対策。時速30㎞規制
- 情報システムリニューアル



3月市議会 やまわき紀子議員の一般質問



【やまわき紀子のプロフィール】

- 1972年わらび生まれわらび育ち。
- 現在、市議4期目。消防委員、原水爆禁止藤市協議会副会長、子ども会役員など。
- 住所 南町2-31-14、TEL・FAX446-3129。
- 主な活動地域は、中央1丁目16〜22番地、南町全域。

**困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています**

◆特別養護老人ホーム整備について

【山脇】 近隣住民との話し合いの状況や地域との交流についてはどうか。

【部長】 地域住民の方への全体的な説明会を2回行っており、今後も8月に工事等についての説明会を行う予定。家族介護教室等を行う予定の集会室やボランティアによって運営してもらう地域に開かれた喫茶コーナーの設置を予定していると聞く。

◆保育行政について

【山脇】 市長に待機児童解消への対策を聞きたい。

【市長】 基準内での最大限の定員拡

大に努め、さらなる認可保育園の増設にむけて努力していく。

◆防災対策について

【山脇】 減災対策として家具転倒防止金具の設置を進めて行く考えは。

【部長】 家具類の転倒を防止することとは減災対策の1つとして極めて重要である。対象者の選定や金具等の種類、費用負担や設置は誰が行うのか等多くの課題はあるが、一つひとつ整理しながら検討していく。

【山脇】 災害要援護者に対しては自治体に対策をとっていくことが必要だと思うが、市長の見解を聞きたい。

【市長】 いろいろな課題を整理する

中でとりわけ災害要援護者への支援を検討していくのは必要である。

【山脇】 中学生地域防災支援事業のねらいと目的、事業内容はどうか。

【教育長】 実施要領や年間計画の作成、救命救急講習、避難所開設補助訓練、市防災訓練への参加などの体験研修を想定している。

◆公園等の整備について

【山脇】 老朽化が激しいベンチが見受けられる中でも、若葉公園についてはどうか。

【部長】 10基あるベンチのうち8枚の取り替えを依頼した。

【山脇】 水辺清掃について、子ども達が水に入る前の5月末か6月初めに、少し早めの清掃はできないか。

【部長】 可能と思うので検討する。

新年度予算にもりこまれた 地域要求

- 南小学校の校庭整備改修と校舎トイレ改修
- 第一中学校体育館の耐震化リニューアル工事
- 南公民館の耐震診断
- 南町の生活道路一部をゾーン30に指定
- 図書館の祝日開館と防犯対策

日本共産党市議団の 一般質問項目

志村しげる議員



- ・障がい者用グルー
- ・プホーム整備事業と短期入所事業について
- ・リサイクルの促進とごみの減量化について
- ・新蔵市環境基本計画について

鈴木さとし議員



- ・「いじめ」体罰のない教育環境
- ・定員を大きく超えた留守家庭児童指導室の改善を
- ・コミュニティバスについて、ルートの見直し、公民館での高齢者無料バス発行、停留所へのイ

かじわら秀明議員



- ・生活保護基準引き下げは、受給者だけでなく低所得者全体の収入を下げるもので断固反対
- ・生活習慣病対策と保健指導の改善を求める
- ・大雪対策。時速30km規制
- ・情報システムリニューアル